

スキトレ企画書

作成日： 年 月 日

校名：美しが丘校

企画者：浦

活動名：試練を越えろ！バランス玉入れゲーム

本活動の着目点

平衡感覚や多重課題に対応することが出来る

目的・趣旨(ねらい)

- ・目と手の協応を意識する
- ・うまくいかない時の感情のコントロール
- ・多重課題をクリアする
- ・平衡感覚を身につける
- ・感覚統合力を身につける

活動の概要

【場所】

活動場所

【日時・所要時間】

月 日()

16:00開始

約30分～40分程度

【人数】

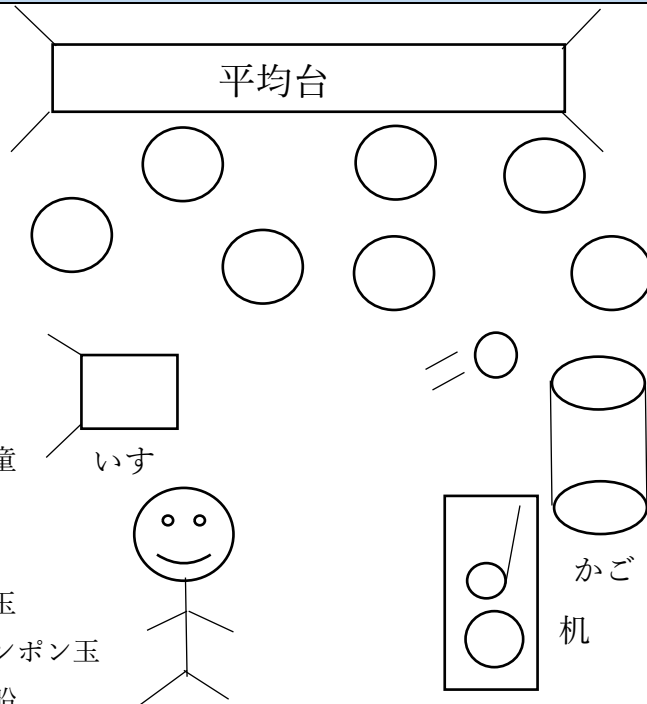
ミッション参加者

【対象者】

- ・平衡感覚や感覚統合が苦手な児童
- ・複数の一斉課題が難しい児童

【必要な道具】

- ・平均台
- ・ボール
- ・お玉
- ・手作りの輪
- ・かご
- ・ピンポン玉
- ・いす
- ・机
- ・風船



活動の進め方

【進行方法・ルール】

ミッションの10分前から声掛けを行う。

16:00になったら活動を始め、ルール説明を行い活動を行う。

- ① 風船を持った状態で平行棒に乗って落ちないように渡る
→平衡感覚・感覚統合力を養う
- ② 風船を持った状態で床に置いてある輪を渡る
→二重課題
- ③ 椅子に座り持っている風船を先にあるかごに投げ入れる（入るまで）
→うまくいかない時の感情のコントロール

スキトレ企画書

④ 最後にお玉に小さなボールを乗せて②→①を行い戻ってくる

→目と手の協応、多重課題

ルールに関しては下記内容にて行う。

- ・勝負ではなく順番に並んで1人ずつ協力して行う。
- ・友達が失敗したときに責めたりしない（応援する）
- ・順番を待っている人は危ないため中に入らない。

15：50～活動の呼びかけ

16：00～活動開始

16：40～活動終了

【進行上の留意点】

- ・一度デモンストレーションをしてルールの再確認を行う。
- ・勝負ではなく協力する活動であることを説明する。
- ・待っている人は中に入らず応援をする。
- ・バランスが苦手な子にはしっかり見守りを行う。

【役割：OT、スタッフ】

役割：1人以上（可能であれば3人いると望ましい）

※3人の場合

①進行役

②転倒防止など見守り

③カメラ

スタッフの着目点

- ・身体の使い方は意識できているか
- ・多重課題に対応できているか
- ・ゴールの見通しは立てられているか
- ・皆で協力をして出来ているか

活動を行う上での注意点

- ・平均台を使うためバランスを崩した際の転倒に注意する
- ・環境設定をしっかりしルールを細かく設定しておく

予算

- | | | |
|--------|--------|-----|
| ・平均台 | ・かご | ・風船 |
| ・手作りの輪 | ・机 | |
| ・椅子 | ・お玉 | |
| ・ボール | ・ピンポン玉 | |

計0円

スキトレ企画書